

| | | | | | |
|-----|-----------------|------|-------|------|-----|
| 科目 | ゼミナールⅢ(S) | 担当 | 長澤 省吾 | 履修学年 | 4年 |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 必修 | 単位数 | 2単位 |

【授業目標・到達目標】

ゼミナールⅠ・Ⅱにおいて養成された指導者としての実践能力をさらに発展させ、教育実習やその他スポーツ指導の現場において活躍できるようになることを第一の目標とする。
また、卒業論文に向けた調査/測定を行うことと並行して、先行研究の読み方や筋道の通った文章の作成が出来るようになることを第二の目標とする。

【履修注意】

原則として、欠席回数(含公欠)は3回までとする(遅刻・早退・見学は0.5回とみなす)。
就職活動や教育実習に出る可能性を考えて、日常の欠席は無いように努める事。

【評価方法】

出席点40% プレゼン30% 貢献度30%で総合評価する。

【試験について】

指導者実践の評価とレポート作成を行う。

再試験対象者の条件: 行わない。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

必要に応じて資料配布を行う。購入教科書なし。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

| 回数 | 項目 | 内容 |
|----|-----------------|----------------------------|
| 1 | オリエンテーション | ゼミナールの進め方と公認スポーツ指導者資格に関する説 |
| 2 | 先行研究の収集 | 先行研究の解説 |
| 3 | スポーツ指導者資格 | 多種多様なスポーツ指導者資格の認識 |
| 4 | スポーツ指導者としての実践Ⅰ | あらゆる対象者を想定しながら実施 |
| 5 | スポーツ指導者としての実践Ⅱ | レクリエーション要素を多く盛り込みながら実施 |
| 6 | スポーツ指導者としての実践Ⅲ | 競技的要素を多く含みながら実施 |
| 7 | 卒業論文の進行状況チェックⅠ | テーマ選定の基準について |
| 8 | 卒業論文の進行状況チェックⅡ | 資料収集が可能なのか全員で議論 |
| 9 | 卒業論文の進行状況チェックⅢ | 目的に合った調査/測定方法を行えているか? |
| 10 | 卒業論文の進行状況チェックⅣ | 調査/測定方法の検証 |
| 11 | 卒業論文の進行状況チェックⅤ | 学術論文としての評価 |
| 12 | テーマに基づくディスカッション | 互いの研究に関する意見交換会 |
| 13 | 中間報告会の準備Ⅰ | プレゼンテーションに関する諸注意 |
| 14 | 中間報告会の準備Ⅱ | プレゼンテーション資料整理 |
| 15 | テストⅠ | 中間報告会① |
| 16 | テストⅡ | 中間報告会② |